第１２回　令和７年４月３０日（水）

「女子ハンドボール部のみなさん、県3位・関東大会出場決定おめでとうございます！」

29日は高津高校で行われた女子ハンドボール部の神奈川県大会3位決定戦を観てきました。私はバスケ歴が長いのでハンドボールのルールがわからず「トラベリングにみえるな」「あれもファールじゃないんだ」など、不思議な感覚もありつつ、とにかくぶつかり合いが激しいことと、休める時間がほとんどなくものすごく体力が必要なスポーツだということに驚きました。

キーパーさんの反射神経はすごいですね。川和のキーパーさんはサイズが小さいのにすごい反応でびっくり。どのスポーツをやっても通用するスピードでした。大事なところでシュートを確実に決めるチームの安定感も感心しました。

他の部活動でも新聞で情報を探していますが、見落としもあるかもしれません。廊下で会ったときなどに教えてくれると嬉しいです。勝ったお知らせだけでなく、こんな大会がありましたというお話だけでもいただけるとありがたいです。（川和のことはなるべくたくさん知っておきたいので。お願いします！）

さて今日は１８１５年の教師が書いた出版物から一つ紹介します。

「最近の生徒たちは紙に頼りすぎです！石板にチョークで字が書けない生徒が多くなり、うまく消せなくてチョークまみれになってしまう生徒がたくさんいます！紙なんて燃えてしまったらどうするのですか！」

これ、石板に字を書いていたころの学校で「紙」が導入されたときの教師の意見です。いま教室ではまだ「紙」が主流ですが、端末も増え始めています。端末に反対する人もいるかもしれません。「データが消えてしまったらどうするのですか！」という主張と過去の意見が重なっている気がします。

電話が世界中で普及するまで７０年かかりましたが、スマホは８年でした。
いまやＰＣは少し古いという時代です。サングラス型のウェアラブル端末がこのあとどれくらいで普及するのでしょうか？

みなさんは記憶にある限りスマホがあるのが当たり前だったと思います。本校の職員玄関横のお庭に設置されている「公衆電話」、使ったことがないという人も多いかもしれません。災害に強い通信手段と言われているので、ぜひ一度使用してみてください。